

()寸法は据置台が450の場合

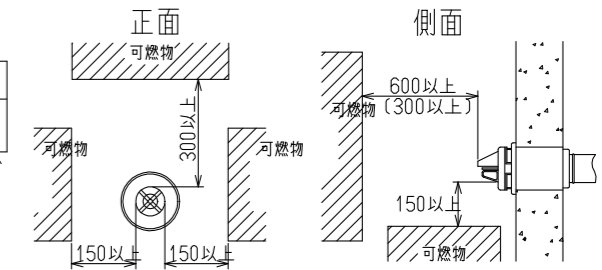
φ100 KP 2本管直出し給排気筒トップ

- 給排気筒トップと周囲の「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物などの部分」とは、下記の離隔距離をとってください。

給排気筒トップの周囲の離隔距離 (単位: mm)

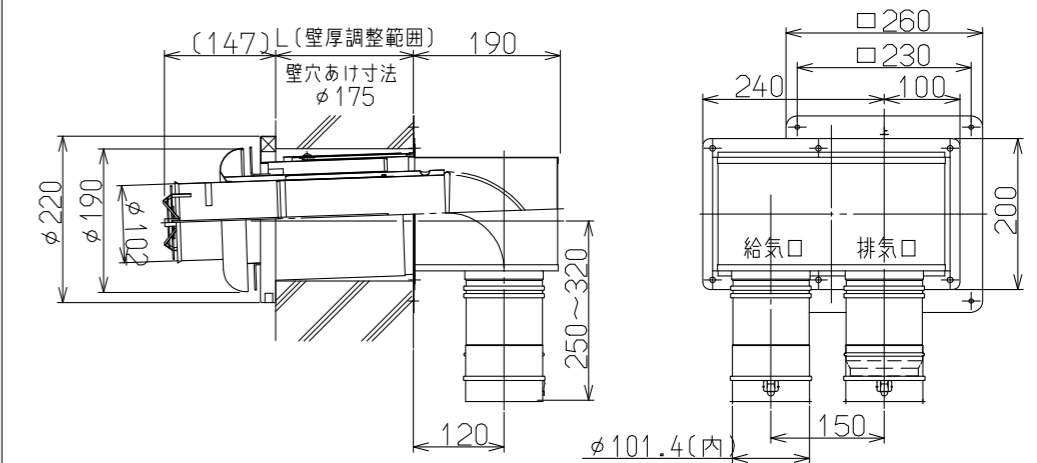
方向	上方	前方	側方	下方
距離	300	600 (300)	150	150

備考()内は、防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物等の部分」との距離を示す。



- 給排気筒トップと建物開口部との離隔距離

前記に定める範囲を壁面に投影した範囲内(燃焼排ガス吹出口から60cm以上離れた部分を除く、また前記()内寸法は除く)に燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開放可能な窓などが無いことを確認してください。



型 式	L (壁厚調整範囲)
FFTL-10-200C	150~250
FFTL-10-300C	250~350
FFTL-10-400C	350~450

- 給排気筒トップの先端から水蒸気(煙状のもの)や水滴が出ることがあります。給排気筒トップは水蒸気の見えにくい場所や、水滴落下による床ぬれ・飛散による支障の無い場所を選んで設置してください。
- オーバーフローの工事について
オーバーフロー管は必ず排水口まで導いてください。ポリタンクなどで排水を受けることは、絶対にしないでください。また先端は必ず大気開放されるようにしてください。
- 機器に異常があった場合は、過圧逃し弁(給湯水抜き栓)から水蒸気や水が出てくる場合があります。このため、過圧逃し弁には必ず付属の排水チューブを接続し、チューブ先端を水蒸気などによる過熱・水ぬれの影響が無い場所に導いてください。

注) ドレン配管工事について

この機器は燃焼中にドレン水が発生するため、別途ドレン配管が必要です。必ずドレン配管工事を行ってください。

(ただし、必ず各地域の下水道の管轄部署の基準に従ってください。)

名称	据置台標準設置図(給排気筒直出し)			
型式	RHBH-RM246AFF2-1			
作成	2020.09	尺度	1:10	サイズ A3
リンナイ株式会社				